

第4次静岡県環境基本計画の 策定に係る基本的事項

令和3年2月4日

静岡県くらし・環境部 環境局 環境政策課

富国・有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



1. 第4次環境基本計画の策定

現行計画 **改定版第3次静岡県環境基本計画**

計画期間 平成24～令和3年度（2011～2021）

平成23年3月 第3次静岡県環境基本計画を策定

平成28年3月 第3次静岡県環境基本計画を改定

令和2年3月 計画期間を1年延長



基本目標 環境の理想郷“ふじのくに”の創造
～将来世代に引き継ごう「やすらぎと活力のある社会」～

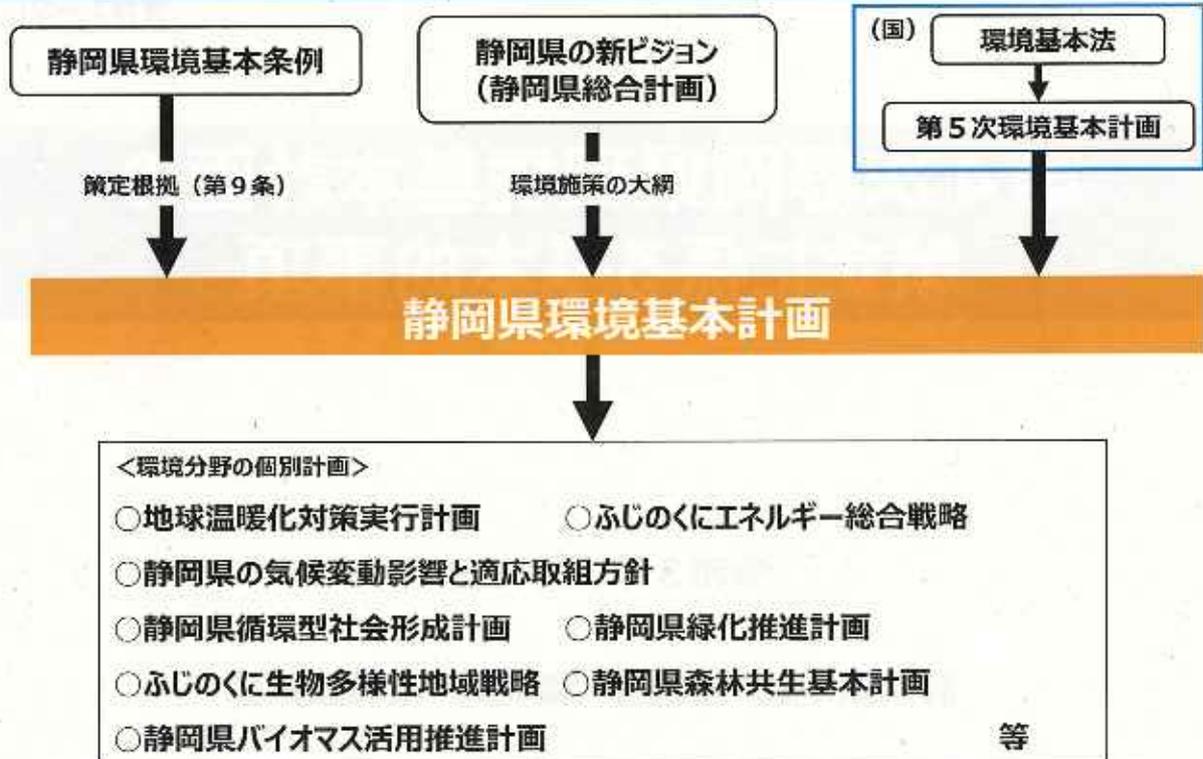


第4次静岡県環境基本計画を策定

富国・有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに



2. 静岡県環境基本計画の位置づけ



① 環境をめぐる国内外の情勢

② 現行計画の評価

③ 県民の環境に関する意識

次期計画の方向性

3. 環境をめぐる動き（概要） 2015～2018

国際	国内	県内
2015年 持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）採択（2015.9）		
2016年 パリ協定採択（2015.12） 2℃目標達成のため、今世紀後半の温室効果ガスの実質排出ゼロを目指す（発効：2016.11）	地球温暖化対策計画 策定（2016.5）	改定版第3次静岡県環境基本計画 策定（2016.3） 第3次静岡県循環型社会形成計画 策定（2016.3）
2017年 中国政府 廃プラスチックごみ輸入禁止発表（2017.7） 東南アジア諸国でも輸入規制の動きが拡大し国内で廃プラスチックごみが滞留	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」一部改正（2017.6）	ふじのくにエネルギー総合戦略 策定（2017.3）
2018年 IPCC 1.5℃報告書 公表（2018.10） 気温上昇を1.5℃に抑えるためには、2050年前後に世界全体のCO2排出量が正味ゼロになっている必要性が示された。	第5次環境基本計画 策定（2018.4） 「海岸漂着物処理推進法」一部改正（2018.6） エネルギー基本計画 策定（2018.7） 気候変動適応計画 策定（2018.11） 「気候変動適応法」施行（2018.12） 「水道法」一部改正（2018.12）	静岡県新ビジョン 策定（2018.3） 静岡県緑化推進計画 策定（2018.3） ふじのくに生物多様性地域戦略 策定（2018.3） 「静岡県地下水の採取に関する条例」一部改正（2018.3）

富国・有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

5

3. 環境をめぐる動き（概要） 2019～2021

国際	国内	県内
2019年 バゼル条約改正（2019.5） G20 大阪ブルー・オーシャンビジョン 共有（2019.6） 2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにすることを旨とする 国連気候行動サミットの開催（2019.9） スウェーデンの活動家 グレタ・トゥンベリさんが演説	プラスチック資源循環戦略 策定（2019.5） 海洋プラスチックごみ対策アクションプラン 策定（2019.5） パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略 策定	静岡県の気候変動影響と適応取組方針 策定（2019.3） 静岡県環境影響評価条例 施行規則 改正（2019.3）
2020年 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大（2020.1～） テレワークやオンライン会議など新しい生活様式が急速に普及 菅総理所信表明演説（2020.10） 2050年脱炭素を宣言	「環境影響評価法施行令」改正（2020.4） 「改正浄化槽法」施行（2020.4） 水循環基本計画 改定（2020.6） 「改正大気汚染防止法」改正（2020.6）	
2021年		

富国・有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

6

3. 環境をめぐる動き

SDGs（持続可能な開発目標）の取組の本格化、ESG市場の拡大



○SDGsは経済・社会・環境をめぐる広範な課題について、統合的に取り組むことを掲げている。

○国、自治体、企業、NPOなど様々なレベルでのSDGsの取組が進んでいる。

富国・有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

7

3. 環境をめぐる動き

第5次環境基本計画の策定



○環境・経済・社会の統合的向上

○地域循環共生圏

富国・有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

8